

ビジネス NOW



木育プロジェクト

デザイナー 大野 英憲さん

昨年のグッドデザイン賞を受賞されましたが、「秋田杉を使ったスマートフォン」の音を拡張させるスピーカー「ディクシヨナリーホン」で受賞することができた。

「箱の内側にスマートフォンを置く」と製作した。秋田杉は建材としては多く使用されているが、もつと違う方法で活用できないかと考え、特に若い人にもつと聞伐材の魅力を知ってもらいたく、スマートフォン用のスピーカーを製作した。

フォンを置くと、杉と共鳴し、増幅されて音が出る仕組みになっている。スマートフォンから音楽を聴くと高音の金属音がする。ラッパを上向きにしたような朝顔の形にした。これにより、耳障りな音が消え、丸みを帯びた綺麗な音が鳴るようになった。また蓋があることによって反響す

ることができている。杉には、音を吸収する特徴があるので、トライアルで作ったものだったが、金属音を綺麗に消してくれたことが良かった。初めは、スピーカーとなる部分の角度が難しく、なかなか音が出ず、苦労したが、秋田県立大学の木材高度加工研究所の教授などにも知恵を借りて

完成させることができた。これには金属片などを一切使用しておらず、つなぎ部分も秋田杉だけを「価格が税込3,990円。初めはインターネット通販で購入してくれる

多いが、木の香りを感知することにより、部屋の浄化や生活を豊かにするこ

ともでき、環境を意識することが可能となる。この製品には差し込み



▲ディクシヨナリーホン (税込3,990円)

木のぬくもりを生活の中に 秋田杉を使ったスピーカー

や専用ケーブルがありませんが、対応機種は、「この製品には、使用できる機種を限定させるような差し込みユニットや専用ケーブルはなく、幅80以内のスマートフ

オンであれば、どんな機種でも対応できる作りとなっている。

価格や販売場所は。

「価格は税込3,990円。初めはインターネット

通販で購入してくれる

今後の目標は、「認知度を上げること

はもちろんだが、「木育」という観点から、保育園や学校帰りなどに子どもたちや親子連れなどが遊びながら木に触れ、考え、学べる場所を作っていきたい。

「認知度を上げること

はもちろんだが、「木育」という観点から、保育園や学校帰りなどに子どもたちや親子連れなどが遊びながら木に触れ、考え、学べる場所を作っていきたい。

はもちろんだが、「木育」という観点から、保育園や学校帰りなどに子どもたちや親子連れなどが遊びながら木に触れ、考え、学べる場所を作っていきたい。

はもちろんだが、「木育」という観点から、保育園や学校帰りなどに子どもたちや親子連れなどが遊びながら木に触れ、考え、学べる場所を作っていきたい。

はもちろんだが、「木育」という観点から、保育園や学校帰りなどに子どもたちや親子連れなどが遊びながら木に触れ、考え、学べる場所を作っていきたい。

はもちろんだが、「木育」という観点から、保育園や学校帰りなどに子どもたちや親子連れなどが遊びながら木に触れ、考え、学べる場所を作っていきたい。

はもちろんだが、「木育」という観点から、保育園や学校帰りなどに子どもたちや親子連れなどが遊びながら木に触れ、考え、学べる場所を作っていきたい。